

ミクロ経済学A 復習用

2～4回

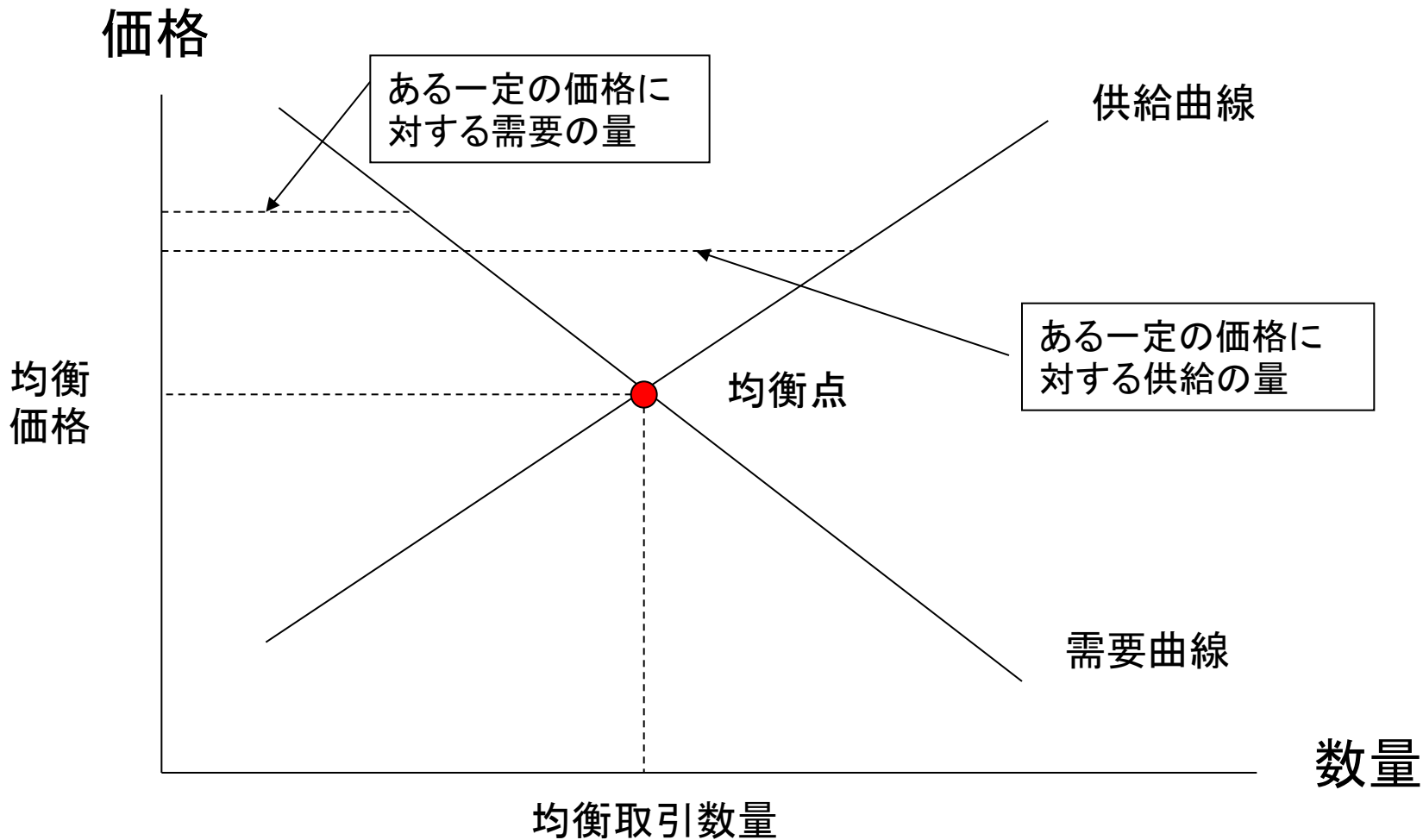
2018年4月、5月1日

完全競争市場

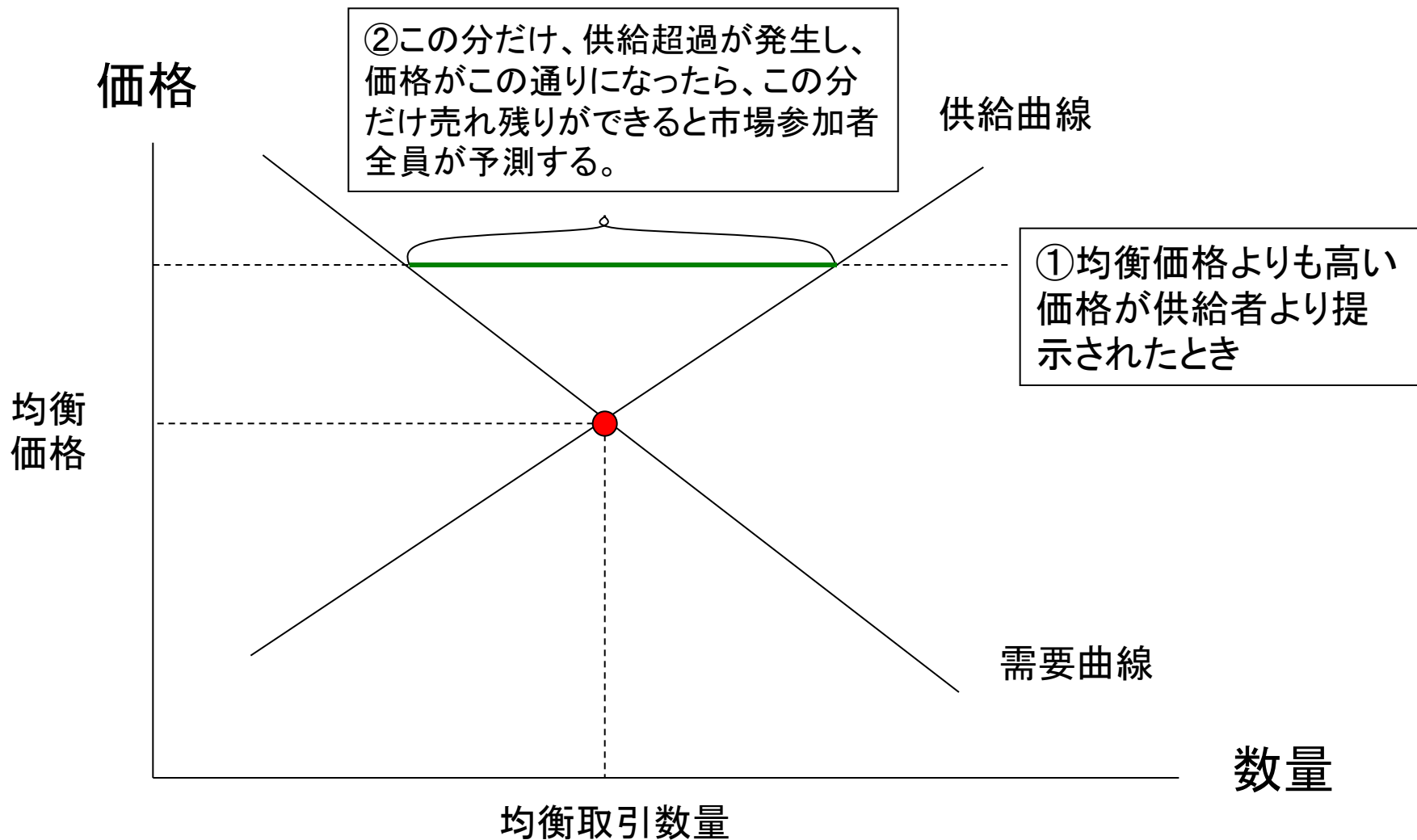
ある財の市場に完全競争が成り立つ条件

1. 多数の消費者（家計）、多数の供給者（企業）（売り手が単一である場合は、独占となる。少数の場合には、寡占という）
2. 経済主体は合理的・利己的
3. 財は一種類で均質
4. 完全情報（市場における価格、費用、選好情報が費用なしに入手できる）

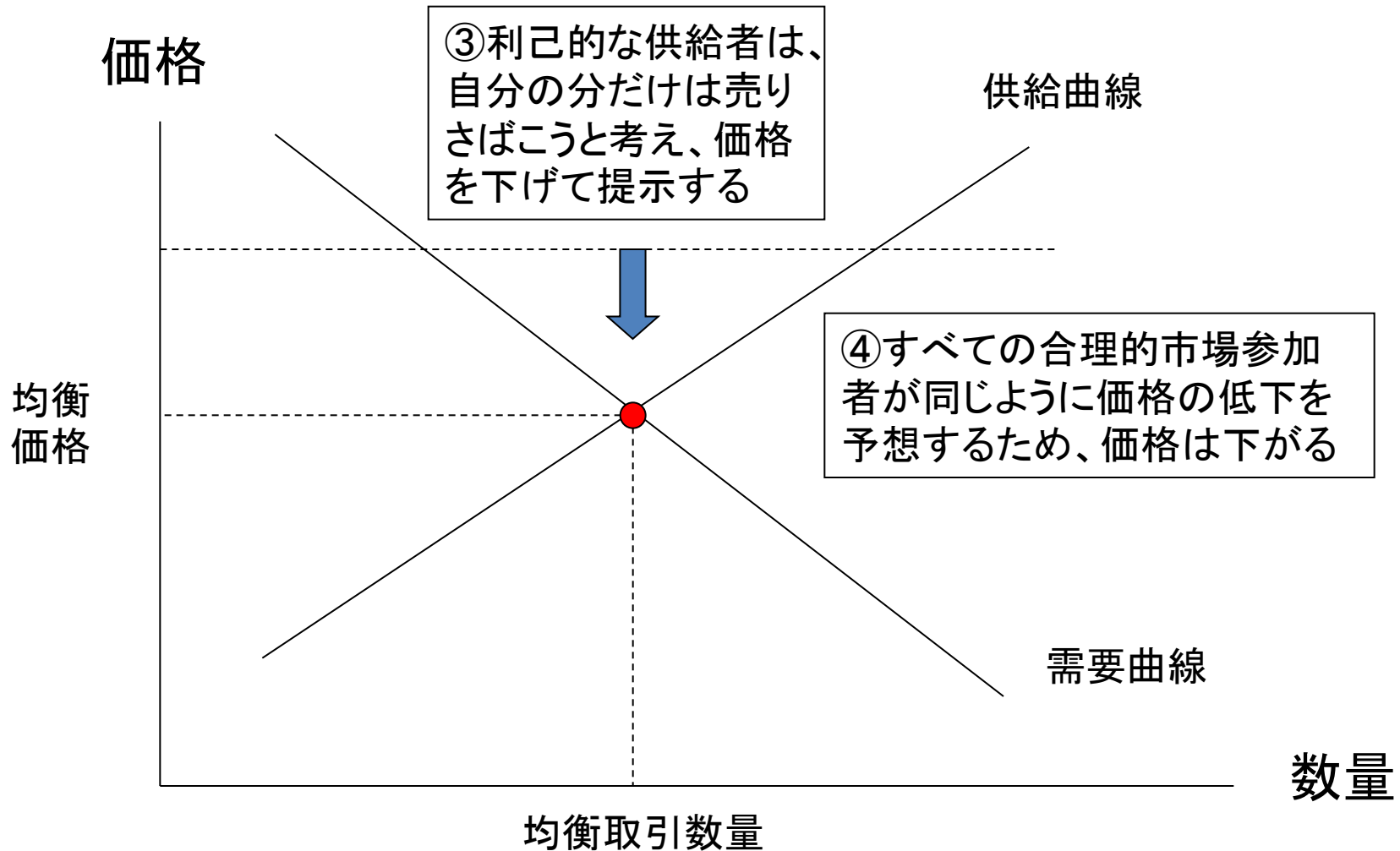
需要と供給



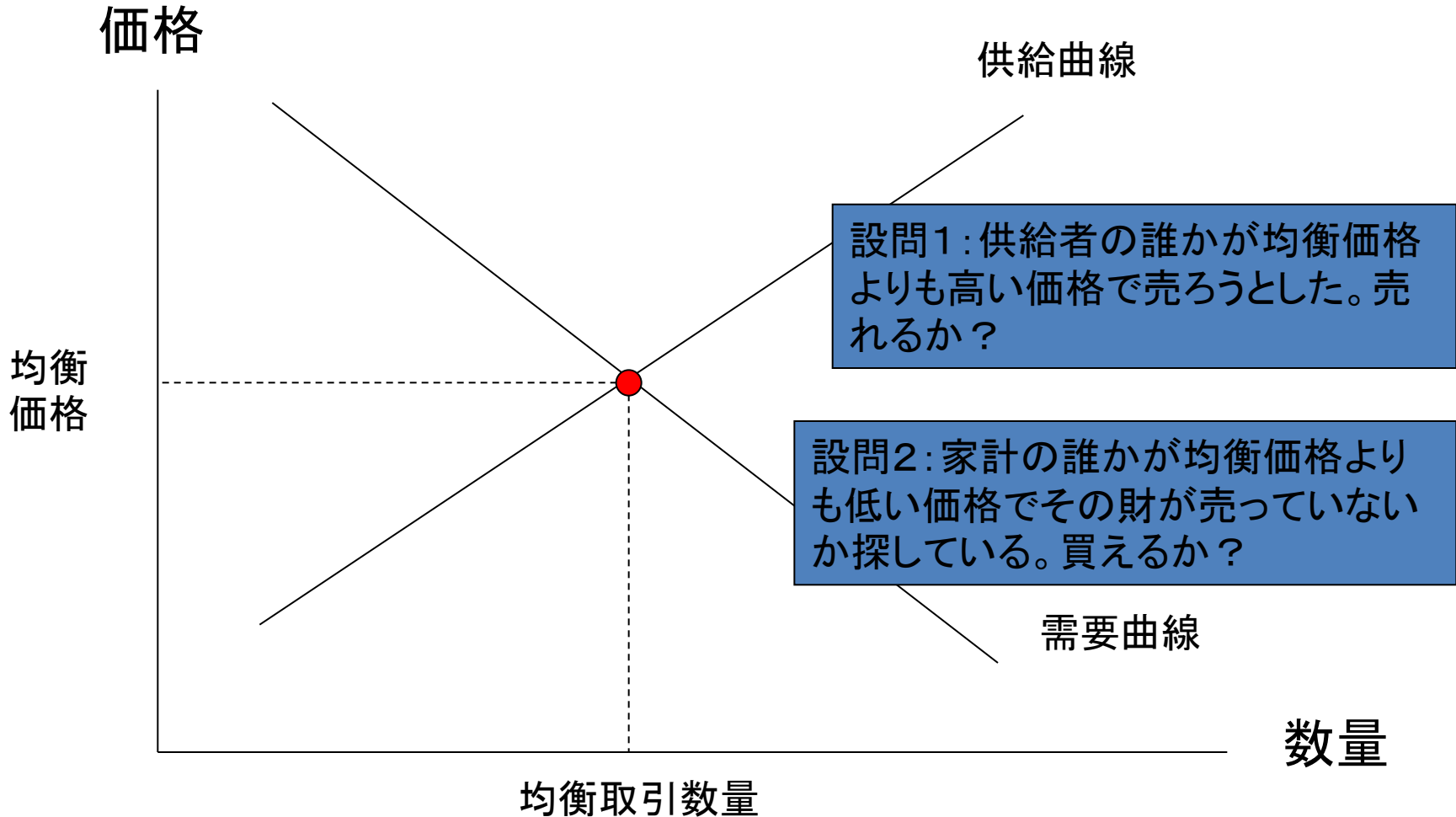
市場の価格調整: ある財に、市場で均衡価格よりも高い価格が、供給者より提示された場合には



超過供給がある場合には、供給者の誰かが、その価格では販売できなくなってしまう＝売りそびれる者が出る



価格低下は、価格が均衡価格に達するまで続く
いったん均衡価格に達すると、すべての市場参加者は価格に影響できない(彼らは、価格受容者(プライス・テイカーである))



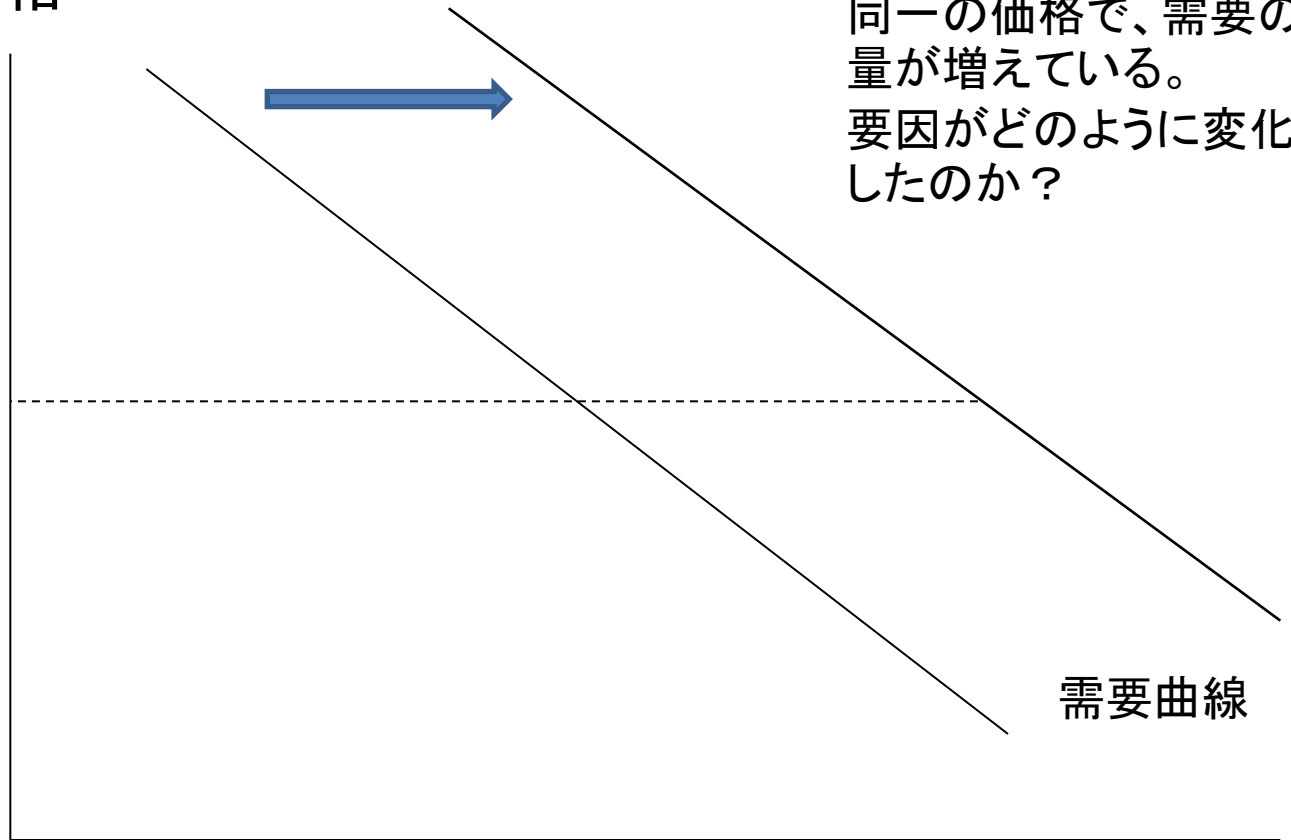
需要曲線・供給曲線のシフト

需要曲線がシフトする

- 需要曲線のシフトは、モノ・サービスの買い手の状況の変化が反映する。
 1. 所得の変化
 2. 選好（買い手の好み）の変化
 3. 代替財の価格の変化

需要曲線のシフト

価格



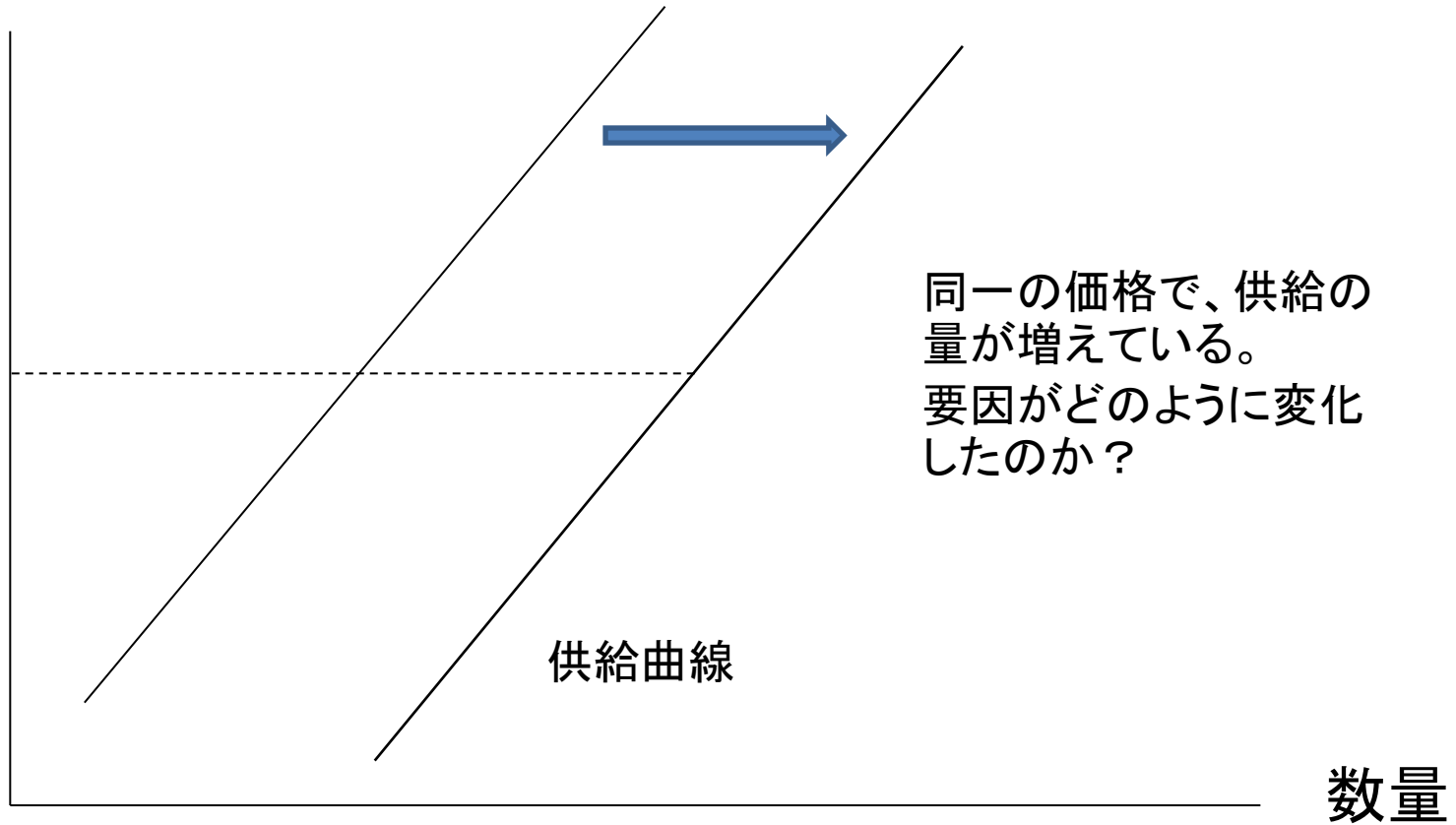
数量

供給曲線がシフトする

- 供給曲線のシフトは、モノ・サービスの生産条件の変化に対応する
 1. 生産コスト（賃金、原材料費など）の変化
 2. 生産性の変化（同じ労働力・資本で生産できるモノが大きくなる・小さくなる）
 1. 技術の進歩
 2. 自然条件の変動（天候など）

供給曲線のシフト

価格



練習問題

1. 供給条件が不変であるとき、価格と取引数量がどちらも増えた。需要側に何か起きたのだろうか。
2. 需要条件が不変であるとき、価格が下がり、取引数量が増加した。供給側に何が起きたのだろうか。
3. 価格に変化がないのに、取引数量が増加した。需要と供給に何が起きたのだろうか。